

HOPES

ホープス セカンド

2nd

地元の福岡市で障がい者施設に勤務していた井上さん。震災のおよそ1年後、ボランティアで南相馬市の施設を訪れ、当時の状況の厳しさを体感。翌年にもプラットフォームで来県し「いいたてホーム」に足を運びました。入所者の生命を第一に考え、避難せずに運営を続けたホーム。入所者に寄り添う介護人々の温かさにも心をひかれました。「自分でも

いの村で楽しく家族で暮らしたい

井上 祥行 よしゆき
さん (大久保・外内)



福岡県福岡市の出身。介護福祉士として平成26年から「いいたてホーム」に勤務。平成30年に結婚。2人目の子どもの誕生を控え妻の絵美さんが郡山市内の勤務先を退職し、今年3月に家族で村に移住。



家族で暮らす村営住宅の縁側で。2歳になった長女の朝陽(あさひ)ちゃん、今年6月に生まれた長男の晴翔(はると)君と。「自然豊かで人が温かいこの村で、のびのびと育てたい」。勤め始めた頃は言葉や習慣の違いに戸惑いもありましたが、今ではコミュニケーションもスムーズ。施設内のイベントやギターの弾き語りをしたり、スポーツ公園で職場の仲間とフットサルをしたりと充実しています。移住前は二本松市から通勤していましたが、今では家族との時間も格段に増えました。

井上さんは都会育ちですが、「人が多い所より田舎が好き」で広々とした村の環境が気に入っているそう。「子供もと散歩をしていると皆さんが気さくに声をかけてくれます。迎え入れてくれたこの地域で、私達家族も楽しく暮らしていきたいです」。

井上家は
今夏オープンした
「ふかや風の子広場」
の常連さんだ
そうです

でもないとあるのでは。必要とされる場所で働きたい」。初めは驚いた家族も、考え方抜いた決意を受け入れ、送り出してくれました。

勤め始めた頃は言葉や習慣の違いに戸惑いもありましたが、今ではコミュニケーションもスムーズ。施設内のイベントやギターの弾き語りをしたり、スポーツ公園で職場の仲間とフットサルをしたりと充実しています。移住前は二本松市から通勤していましたが、今では家族との時間も格段に増えました。

井上さんは都会育ちですが、「人が多い所より田舎が好き」で広々とした村の環境が気に入っているそう。「子供もと散歩をしていると皆さんが気さくに声をかけてくれます。迎え入れてくれたこの地域で、私達家族も楽しく暮らしていきたいです」。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

<編集後記>

● 今月の広報作成中に掲載したい写真が上手く撮れず、確保できずで困っていました時、村のホームページに村外の方から1通のメール。「飯館村の選手の写真を撮影したのでどうぞ」。はい、見事に写つておりました。感謝の気持ちと飯館村のもつ力を改めて実感です。(木幡)

● 切り絵のように青空を透かす広葉樹。ゆるやかな傾斜が雲に続く牧草地。グラデーションの魔法を使う紅葉の木。林の縁を丸く丸く進む小さな道。私もあります。「いい」というお気に入りの景色。しかもたくさん。通るたびに愛でています。小さな「わくわく」です。(星)